

## 里山林の昔と今

群馬県林業試験場 石田敏之・中山ちさ\*

\*現：群馬県自然環境課

キーワード：里山、薪炭林、落ち葉かき

### 【はじめに】

里山は、かつて人々の暮らしを支えた燃料（薪や炭）や、落ち葉など農業生産に必要な資材を得るため、人為的に形成され維持されてきた里山周辺の環境をいいます。

里山の広葉樹二次林（ここでは以後「里山林」）は、昭和30年代頃まで、燃料や落ち葉を得るために伐採、更新が繰り返され、かん木は、きれいに刈り払われ、落葉や腐植が取り除かれていました。この結果、林内は明るく、下層植生豊かな環境が維持されてきました。

しかし、ガスや電気、化学肥料の普及とともに里山林は放置され、上層木が高齢化し、進入したササなどにより林床植生は貧相になっていきました。

近年、この里山林の環境が評価され、ボランティア団体を中心に整備が図られつつあります。しかし、里山林の当時の姿を知っている方々は高齢化し、このままでは伝統的な施業が引き継がれない懸念があります。

そこで、里山林の施業を担ってきた方々に、かつての環境、整備手法、使用した道具などを聞き取り調査しました。また、現在ボランティアの方々が整備している森林の現状を調査し、その特徴を把握しました。

### 【調査方法】

#### 1 里山整備に関する聞き取り調査

##### （1）調査対象

調査の対象は、伝統的管理が行われていた昭和30年代頃まで里山林管理を経験した農林業者としました。里山を利用していたと思われる10地域を選定し、60代から80代までの11人に聞き取りを行いました。

##### （2）内容

主にナラ類の管理について聞き取りました。聞き取った項目は次のとおりです。①伐採の周期、②伐採時の直径・樹高、③材の利用方法、④皆伐の際の伐採高、⑤萌芽整理の方法、⑥植栽の有無・樹種・方法、⑦下刈りと落ち葉かきの時期と頻度、⑧下草と落ち葉の利用方法、⑨使用した道具、⑩樹種構成、⑪下層にみられた植生、⑫当時の作業名称

#### 2 里山整備地における林分調査

##### （1）調査地

調査は、桐生市新里町、伊勢崎市、高崎市倉渕町、榛東村、草津町の5箇所としました。また、各調査地毎に落ち葉かきの有無、あるいは整備の有無により2つの調査区を設けました。

##### （2）調査項目

haあたり本数、株数、樹高、直径、相対照度、植生を調査しました。

## 【結果】

### 1 里山整備に関する聞き取り調査

伐採の周期は短いもので10～15年、長くても20～25年で、現在のシイタケ原木の施業に近いといえます。伐採時の樹高は、覚えていない方が多く、直径を重視していた様子うかがえます。胸高直径は10cm未満から15cm以上までとの回答がありました。伐採時は、なるべく低く伐っていました。伐採の繰り返しにより、次第に高い位置で伐るようになります。秋から冬に灌木、下草を刈り取り、熊手が使えるきれいな林床にした後、落ち葉かきを行いました。山持ちの家には、灌木や落ち葉を必要とした人たちが権利を買いに来たため不要な林はなかったようです。落ち葉は牛の敷き藁として使い、やがて堆肥になり田畑に敷き込まれました。

このように、当時は里山林を最大限利用し、その結果、若く整備された林が広がっていたことが想像できます。



図-1 聞き取り調査の様子



図-2 里山調査林分

### 2 里山整備地における林分調査

林分調査の結果を表-1に示しました。調査地3は若い林を繰り返し伐採して、ミョウガ栽培に用いるため落ち葉が利用され、かつての里山の環境が維持されていました。相対照度も10%前後で明るく保たれています。調査地1、2、4はボランティアや愛好会の方々が熱心に整備して見通しがよく、林間利用に適した状態でした。このような手法は、野外活動に適した新たな整備方向といえます。調査地5は、若く萌芽が盛んで薪炭林の要素がありますが、本数が多いため照度が低く植生が乏しい傾向にありました。

今回の調査では、整備された広葉樹二次林であっても、日本古来の伝統的な里山林とは構造が違う現状を垣間見ることができました。

表-1 里山整備地の林分調査結果

| 調査地 | 所在地  | 主な樹種 | 林 年 | 斜面方位 | 傾斜度 | 落ち葉かきの有○ 無× | 上層木本数本/ha | 上層木平均樹高 m | 上層木平均直径 cm | 相対照度 % | 備考    |
|-----|------|------|-----|------|-----|-------------|-----------|-----------|------------|--------|-------|
| 1   | 桐生市  | コナラ  | 62  | W    | 11  | ○           | 1125      | 16.7      | 19.6       | 2.7    |       |
|     | 〃    | 〃    | 40  | N    | 11  | ×           | 933       | 13.3      | 14.8       | 3.0    |       |
| 2   | 伊勢崎市 | コナラ  | 40  | W    | 16  | ○           | 756       | 14.3      | 18.6       | 3.0    |       |
|     | 〃    | 〃    | 30  | W    | 21  | ×           | 533       | 14.1      | 26.2       | 1.2    |       |
| 3   | 高崎市  | クスギ  | 14  | E    | 15  | ○           | 625       | 13.1      | 14.4       | 12.9   | 落ち葉利用 |
|     | 〃    | 〃    | 14  | E    | 15  | ×           | 550       | 13.6      | 14.0       | 8.3    |       |
| 4   | 草津町  | ミズナラ | 65  | S    | 8   | ×           | 400       | 19.2      | 23.8       | 11.6   | 整備済   |
|     | 〃    | 〃    | 65  | SW   | 15  | ×           | 450       | 16.9      | 16.9       | 7.3    | 未整備   |
| 5   | 榛東村  | コナラ  | 10  | S    | 16  | ○           | 4750      | 10.8      | 11.4       | 3.2    |       |
|     | 〃    | 〃    | 10  | S    | 16  | ×           | 4750      | 8.3       | 8.7        | 3.2    |       |